

## 平成 23 年度第 7 回 IODP 部会執行部会

日時:2011 年 12 月 20 日(火)15:00~18:00

場所:JAMSTEC 東京事務所 大会議室

出席者:

執行部:川幡穂高(部会長・東京大学大気海洋研究所)、西 弘嗣(部会長補佐・東北大学)、  
木村純一(海洋研究開発機構)、中村恭之(海洋研究開発機構)、  
村山雅史(高知大学海洋コア総合研究センター)

オブザーバー:

文部科学省海洋地球課:三木清香、嶋崎賢太

IODP-MI:川村善久

事務局:菊田宏之、藤森英俊、梅津慶太(CDEX)

欠席者:井上麻夕里(東京大学大気海洋研究所)、小林励司(鹿児島大学)、鈴木庸平(東京大学)、  
辻 健(京都大学)、中西正男(千葉大学)、七山 太(産業技術総合研究所)、  
道林克禎(静岡大学)、森田澄人(産業技術総合研究所)、横山祐典(東京大学大気海洋研究所)

### 議事次第【担当(敬称略)】

1. Post-2013 のフレームワーク再検討に関する現状
2. PEP 会議報告【PEP 委員(西、村山)】.....資料 1
3. 掘削航海関連報告【事務局】
  - ・乗船者推薦状況(Exp. 343) .....資料 2
  - ・乗船者応募状況(Exps. 337, 338, 344, 345) .....資料 3
4. CDEX 報告【CDEX】
5. J-DESC 活動
  - ・J-DESC 会員会費について
  - ・成果公表助成申請審査.....資料 4
  - ・コアスクール企画承認(基礎コース、同位体コース) .....資料 5-1、5-2
  - ・臨時総会&シンポジウム.....資料 6
  - ・ニュースレター発行について.....資料 7
  - ・JpGU 地球掘削科学セッション提案報告 .....資料 8
  - ・乗船応募オンラインフォームの改編について
6. その他

### 配布資料

資料 1	PEP 会議報告	資料 7	ニュースレターコンテンツ案
資料 2	Exp. 343 応募者リスト	資料 8	地球掘削科学セッション提案内容
資料 3	乗船応募状況(Exps. 337, 338, 344, 345)	参考資料 1	J-DESC 乗船オンラインフォーム
資料 4-1	成果公表助成申請一覧	参考資料 2	USSSP 乗船オンラインフォーム
資料 4-2	成果公表助成申請論文(星野氏)	参考資料 3	新しいオンラインフォームのイメージ
資料 5-1	コアスクールコア解析基礎コース企画書		
資料 5-2	コアスクールコア同位体分析コース企画書		
資料 6	臨時総会+「ちきゅう」シンポジウム + Hans Christian Larsen 氏記念シンポジウム概要		

## 合意事項

合意項目 (111220-01) : Exp. 345 への応募者で分野を変えてもらえそうな人を見つけ、連絡する(実行者:木村委員)。現在までの乗船応募者リストを木村委員に送る(実行者:事務局)。

合意事項 (111220-02) : 成果公表助成への申請について、資料 4 にある金額の通りに認める。ただし、1 名の申請については村山委員から申請者に掲載誌に関して確認をとり判断する。

合意事項 (111220-03) : コアスクールの 2 コースについて開催を承認する。

合意事項 (111220-04) : 1/25 Hans Christian Larsen シンポジウムおよびパーティー対応のために学生アルバイトを雇用する。

合意事項 (111220-05) : Vol. 5 を今年度末、Vol. 6 を来年度初めに期間を空けずに出版する。事務局より再構成した内容を執行部に送る。

## 議事録

### 1. Post-2013 のフレームワーク再検討に関する現状

文科省三木氏より説明がなされた。

- ・ 12/2 に日米欧での非公式会合、12/6 に IWG+ の Ad-hoc の会合を行った。
- ・ サポートオフィス (1M\$/year) は、フォーラム及び SAS の開催事務、SSDB の維持、プロポーザルの受付などを役割とする。人員構成は、2~3 名の若い人を想定。
- ・ SAS に設置されるサービスパネルは要請に基づきフレキシブルに実施。
- ・ 出版はそれぞれの IO が責任を持つことになるが、様式などの具体的な検討は今後実施される。
- ・ ちきゅうについては 2 種類の参加方式を検討中
  - パートナーシップ型 (250KUSD/year) : 持続的に参加する国・組織向け
  - プロジェクト型 (1MUSD) : プロジェクトベースで参加する国・組織を募集
- ・ 各 Platform provider (日米欧) に Facility Governing Board (FGB) を設置し、それぞれの掘削船の運航計画を決める。

### 2. PEP 会議報告【PEP 委員 (西、村山)】 ..... 資料 1

西部会長補佐より報告がなされた。

これまで SAS に残っていたプロポーザルをすべてレビューした。

- ・ Pre-proposal はリビジョンができない。Full-proposal は 1 度限りリビジョンが可能。
  - ・ APL、MDP はリビジョンが可能。
  - ・ 掘削フィジビリティ (サイズミック) を PEP でもある程度見る
- ※ 詳細な結果は省略。

### 3. 掘削航海関連報告【事務局】

事務局より報告がなされた。

- ・ 乗船者推薦状況 (Exp. 343) ..... 資料 2
  - ・ Exp. 343 J-FAST はメ切が過ぎ、最終的に 21 名から応募があった。
  - ・ 掘削航海専門部会での評価も終了し、CDEX に対してリストを提出した。
- ・ 乗船者応募状況 (Exps. 337, 338, 344, 345) ..... 資料 3

- ・Exp. 337 は本日 (12/20) が追加募集の〆切。現在までに 4 名が応募。ただし、すでに乗船枠は埋まっているため、新たに乗船者が Invite されるとは限らない。
- ・Exp. 338 は現在までに応募はない。1/6 が〆切だが、最大限 1/31 まで募集の延長が可能。
- ・Exp. 344 は 12/15 の〆切を過ぎて 3 名が応募。乗船枠に満たないため、〆切を 1/31 まで延長。
- ・Exp. 345 は 12/15 の〆切を過ぎて 8 名が応募。乗船枠は埋まる数だが、専門分野が一つに集中しているため、2/15 まで延長。

**合意項目 (111220-01) : Exp. 345 への応募者で分野を変えてもらえそうな人を見つけ、連絡する (実行者: 木村委員)。現在までの乗船応募者リストを木村委員に送る (実行者: 事務局)。**

#### 4. CDEX 報告

事務局より報告がなされた。

- ・「ちきゅう」はスリランカでの資源掘削を終了。
- ・12/29 に現地を出発し、1/25 に清水に到着予定。
- ・2 月～3 月にかけて JOGMEC の掘削を経て 4/1 から Exp. 343 を実施する。その後の予定は変更なし。

#### 5. J-DESC 活動

##### ・J-DESC 会員会費について

川幡部会長より、会費の見直しについて説明がなされた。

- ・会員機関内で関係する人数の規模によって 3 つくらいのカテゴリー (5 万円、10 万円、それ以上) に分けるのが妥当か？
- ・どのカテゴリーも保持する票数や権利 (コアスクール学生補助など) は同じが良いのではないか。個人会員はこれまでと同様の取り扱い。
- ・1/25 の総会で意見を求める。決定は来年度の定例総会を目指すつもりである。
- ・川幡部会長より会費見直しに関するここでの議論のまとめを後日執行部に送る。

##### ・成果公表助成申請審査.....資料 4

事務局より標記の件について説明がなされた。

- ・9 名 9 論文の申請があった。
- ・1 名の申請論文は Web of science に登録されていない雑誌に掲載されているようだが、論文としての構成は他の登録雑誌と同様にしっかりしている。
- ・新しい雑誌であれば Web of science への登録はされていないはずであるため、申請者に確認する必要がある。

**合意事項 (111220-02) : 成果公表助成への申請について、資料 4 にある金額の通りに認める。ただし、1 名の申請については村山委員から申請者に掲載誌に関して確認をとり判断する。**

##### ・コアスクール企画承認 (基礎コース、同位体コース) .....資料 5-1、5-2

事務局より説明がなされた。

- ・コア解析基礎コースは 3 月 6 日～9 日 (4 日間) に高知コアセンターで開催予定。

- ・コア同位体分析コースは3月10日～12日(3日間)に高知コアセンターで開催予定。

**合意事項(111220-03): コアスクールの2コースについて開催を承認する。**

- ・臨時総会&シンポジウム.....資料6  
川幡部会長より標記の件について説明がなされた。
  - ・1/25(水)に東大本郷キャンパス小柴ホールにて開催
  - ・Post-2013のフレームワーク検討の状況報告と会費に関する意見聴取を行う
  - ・後半はミニシンポジウム「新たなIODPの掘削提案」を開催する。講演者は現在のところ7名となっている。

**合意事項(111220-04): 1/25 Hans Christian Larsen シンポジウムおよびパーティー対応のために学生アルバイトを雇用する。**

- ・ニュースレター発行について.....資料7  
事務局より標記の件について説明がなされた。
  - ・近年は航海成果に関する記事はあまり掲載していなかったため、いくつかピックアップして掲載するのはどうか？
  - ・ただし、紙面が限られているため1号にすべてを掲載することはできない。
  - ・ページを増やす場合は4ページ単位で増やす必要がある。現行のニュースレターは8ページなので、増やすとすれば12ページとなる。

**合意事項(111220-05): Vol. 5を今年度末、Vol. 6を来年度初めに期間を空けずに出版する。事務局より再構成した内容を執行部に送る。**

- ・JpGU 地球掘削科学セッション提案報告.....資料8  
事務局より標記の件について報告がなされた。
  - ・JpGUのセッション提案の登録内容確認と同時間会費希望セッション及び継続開催希望セッション、招待講演者の登録を行った(すでに〆切が過ぎているため事後報告)。
  - ・招待講演者は南海掘削関連の話で1名、および、可能であれば微生物関連で1名の氏名を登録。
- ・乗船応募オンラインフォームの改編について  
事務局より標記の件について説明がなされた。
  - ・現在使っているオンライン乗船申込フォームは申込内容にばらつきが出るようになっており、審査するのが容易ではない場合もある。
  - ・事務局のスキルで改編を試みたが、素人ができる範囲を超えているため業者に見積もりを依頼している。
  - ・具体的には、研究計画を2~3文程度で短くまとめて書いてもらう記入欄を設けることと、Participation Plan(研究計画の長いもの:A4紙1枚~)のファイルを添付する項目をつける。
  - ・CDEXの国内支援の枠組み内ではできないか検討をお願いしたい。

6. その他

・会員提案型活動経費について

村山委員から報告がなされた。

- ・モホールの集会の提案があった。
- ・予算の積算根拠や使い道が明確でなかったため、一度提案者に差し戻しをした。
- ・再提出の提案書をチェックしている段階。チェックし、最終審査結果が出た後で執行部にメールにて回覧し、最終承認とする。
- ・申請書の内容を事務局である程度チェックしてほしい。

・次回開催について

1/25(水)の 11:00～13:30 に東大本郷キャンパスにて開催。

詳細はメールで案内する。